

北口 英雄（きたぐち ひでお）

〔地域文化振興〕

〔文化財保護〕

昭和 13（1938）年 2 月 10 日生 （満 84 歳）

栃木市在住

氏は、昭和 36(1961)年に立命館大学文学部史学科を卒業された後、栃木県立鹿沼農商高等学校と栃木高等学校で教鞭をとられ、昭和 47(1972)年から、栃木県教育委員会事務局文化課において県立美術館の開設準備に携わるとともに、開館後は学芸員として美術資料の収集や研究などに力を注がれました。

その後、昭和 57(1982)年に開館した県立博物館においては、開設準備に携わるとともに、特に県内の仏像の網羅的な調査研究を行い、多くの図書を執筆することによって、とちぎの仏像研究の礎を築かれるなど、地域の文化振興に大きく貢献されています。

また、平成 10(1998)年 3 月に県立美術館副館長で退職された後は、開館して間もない小杉放庵記念日光美術館の館長を務められ、運営の礎を築かれるとともに、東京家政大学教授をはじめ、東京学芸大学、宇都宮大学、宇都宮文星芸術大学、國學院大學栃木短期大学の講師を務められるなど、後進の育成にも貢献されています。

さらに、栃木県文化財保護審議会をはじめ、足利市文化財専門員、宇都宮市、栃木市、鹿沼市、日光市、小山市の文化財保護審議会委員を歴任され、地域における文化財の掘り起こしや調査研究に携わられるなど、文化財保護に大きく貢献されています。